

将棋の話である。将棋のプロ棋士とコンピューター(人工知能)の戦いは、三年前から始まって、人間側がずっと負け越していたのだが、今年はやつと人間側が最終戦に勝ち三勝二敗で初めて勝ち越した(だから今回は『三笑二盃』ですね)▼実はもう人工知能の方が圧倒的に強いのである。プロ棋士は最高頭脳を持つている人類であると思うが、今は半年前からプロへの将棋ソフト貸し出しで、ソフトの改良は不可、プロ棋士は懸命にソフトの穴を探して今回はやつと勝ち越した、という結果なのだ。天才たちが正攻法ではなくいわゆるゲリラ戦法で勝った、という事に衝撃を受けた▼プロ棋士は計算力の天才だけど、知性の天才じゃないから、まだまだ機械は人間には追いつけないよ、という考えもあるが、実は計算力だって知性だってたいした違いはないという気がする▼ホントに大きな知性の革命が起ころうとしていて、知らないうちに大変な時代になっております。人間を超えるものは宇宙からじゃなくて人間が作り出すんですね。これからの三〇年は面白いけれど、あとに残る私たちは大変です。便利だけどんなにか楽しくない、なんていう世の中にならないよう、楽しく生きる機会を機械が奪ってしまう事がなければ良いと思います。

(YCT)